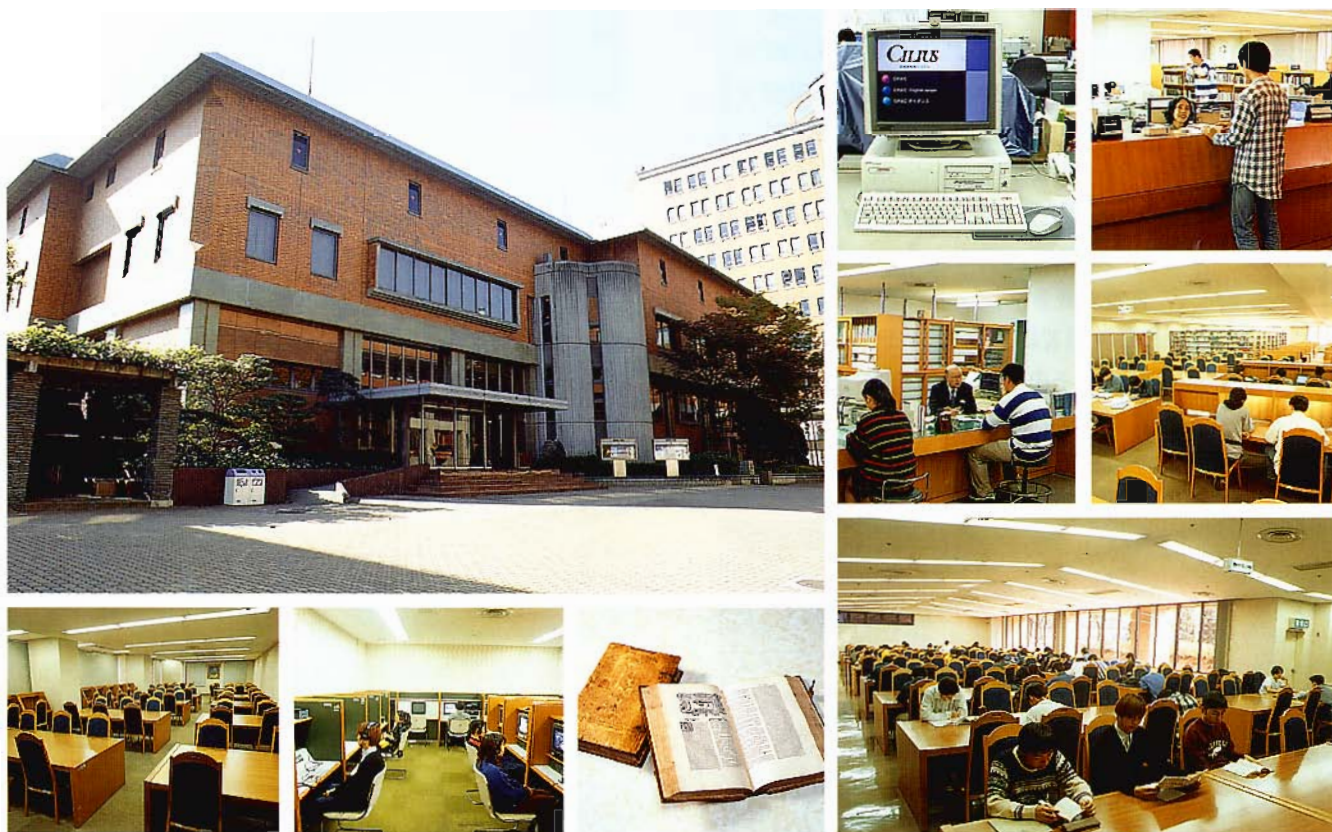


# 図書館だより

学園創立70周年記念号



## 目次

- 今後の図書館のあり方 ..... 2
- 「図書館モニター」について ..... 3
- 学生図書館モニター「図書を選書を行う」 ..... 4
- 学生図書館モニターが選書した図書の一覧 ..... 5
- 座談会:「大学図書館に望むもの」 ..... 6~9
- 平成9年度総合図書館統計資料から最近入った図書の一部紹介 ..... 10
- 図書館の使い方シリーズ(2)~レファレンスサービス~ ..... 11
- 総合図書館インフォメーション ..... 12

現在の総合図書館の建物は、学園創立50周年記念事業の一環として新築され、昭和56年に完成し、すでに17年が経過しております。

地下1階から地上4階までの総面積が6,645㎡、閲覧室には約850名を収容でき、年間延べ40万人(1日平均約2000人)の利用者がいます。蔵書は現在30万冊強となり、単なる量的拡大に終始せず質的充実を図ることが重要になってきたと考えております。

そのためには、産業という名称を冠した大学の教育研究にふさわしい資料を中心に収集に努め、本学の個性を発揮することが重要と言えるでしょう。近年、「イギリス産業革命史コレクション」(501点)や産業技術の発端となった「グーテンベルグ42行聖書」零葉等の貴重な資料を収めたのも、こうした本学図書館の独自性の確立に資するためであります。

しかし数多くの貴重な蔵書は、それらが活用され利用されてこそ、また図書館が利用者にとって便利で快適な、親しまれる知的空間であってこそ、その役割が果たせることになるのですから、図書館の質的充実と蔵書の充実を指すだけでなく、サービス機能の充実をも意味しなければなりません。この点で



本学図書館は今後いっそう学術情報の提供と利用者サービスに力を入れ、ハードとソフトの両面で教育と研究をサポートする体制を整備する必要があります。

ハード面については、すでに館内にOPAC(所蔵目録検索)等を新システムによって公開し、電子図書館機能の第1次計画は完了しました。現在、館内のインフラ整備とともに、学内LANによるWEB-OPAC(館外検索)等について準備を進めています。

また蓄積された視聴覚資料を生かし、サービス機能を発揮するためにも、図書館3階にはAVルームにオーディオ装置を設



置し、ライブラリー・コンサートを定期的で開催しています。

ソフトの面についていえば、何よりもレファレンス・サービスの一層の充実が課題です。図書館が教育と研究の欠かせぬ一翼だという自覚を持って、学生や研究者の相談に迅速に応じ、協力して課題に応えることが全館員に求められます。

このたび学園創立70周年記念に際し、図書館の企画として、院生・各学部学生・留学生から代表を募り、梅田の紀伊國屋書店のご協力を頂き、直接書店において自由に選書、購入するという、全国の大学にも類を見ない計画を実施しました。その後の座談会の席上で、こうした企画に参加できた学生諸君の「幸せでした」という喜びの声に接し、図書館運営への学生参加の意義を確認するとともに、運営に対する学生の率直な意見を聴取し、解決できる課題には早速対応することができたのも、こうした精神に沿うものと存じます。

今後も総合図書館は、大阪産業大学の教育・研究をサポートする情報センターとして、また学内で最も快適な知的空間としてその役割を果たすことができるように、館員一同日々改善の努力を重ねていく所存です。





# 「図書館モニターについて」

## より良い図書館づくりのために

今年、学園創立70周年を迎え、これを記念し「より良い図書館づくり」のために「図書館モニター」を実施いたしました。

モニターは、大学院生・各学部の学生・留学生の中から最多貸出者8名を選出し、御協力をお願いしました。

現在の学生がどのような本に興味を持っているのかを知るため、紀伊國屋書店梅田本店で実際に図書の選書をしてもらい、また「大学図書館に望むもの」というテーマの座談会を開き、施設関係・本の蔵書・検索について等を館長および図書館委員を交え、学生諸君からの図書館利用についての生の声を聞かせてもらい、図書館を運営していく上で有意義であったと考えます。

図書館モニターの意見を今後にし、学生の皆さんが必要とする「資料」「情報」が、いつでも求められかつ、親しみやすく、利用しやすい図書館をつくっていきたいと思います。

## 出席者

総合図書館長 河井 徳 治  
図書館委員(教養部) 内 村 瑠美子

寺 内 伸 治さん (大学院工学研究科2回生)  
竹 内 佳 子さん (経営 3回生)  
山 本 智佳子さん (経済 4回生)  
釜 谷 義 明さん (工学 4回生)  
山 下 千賀子さん (工学 2回生)  
赤瀬川 美由紀さん (工学 3回生)  
谷 口 誠一郎さん (短大 2回生)  
張 燕 慧さん (経済 留学生4回生)

総合図書館  
渡 辺 正 宏 杉 本 兵 二  
五十川 隆 史 鴉 論



# 1. 学生図書館モニター「図書を選書を行う」

今年9月26日、学生図書館モニターが紀伊國屋書店梅田本店において図書の選書を行いました。

通常図書の選書は、学習用・一般教養の図書を含め本学図書館の「資料収集方針」に基づいて行っています。

今回、特別企画として学生モニターに自由に選書して頂き、学生の希望する図書の傾向、意見がわかりました。

今後とも「魅力ある図書館づくり」のために、学生の参加を考えていますので、ご協力をお願いします。



紀伊國屋書店梅田本店での選書

## 図書を選書に参加して 大学院工学研究科 寺内 信治

図書館のこれからの発展のために、学生の声を聞く機会を設けたから協力してくれないかと言われた時、自分は二つ返事でそれを受け入れた。なぜなら、常日頃から、大学だけでなく図書館に対しても色々と言いたいことがあったからである。しかし、実際にどのような内容で行うのか、その本当の意味を知ったとき、自分は驚いた。それは、学生に本を自由に選ばせるというものだったからである。そして、さらに驚いたことは、その選んだ本を図書館で購入するというのである。自分は、本を選定する日の当日、半信半疑のまま集合場所へ行った。説明を聞くと、さすがに雑誌等は選べなかったが、それ以外なら何冊でも選んでくれて良いと言われた。そして、約一時間だけの自由な選書が始まった。しかし、いざ自由に本を選んで良いと言われても、やはり日頃の癖から本を選ぶたびに内容を確認しては、自分の求めている本かどうか確認していた。すると、図書館員の人から「どンドン遠慮せずに選びや!」という一言をいただいた、この一言で自分は勢いがついた、それ以降、自分の知っている著者名や、本のタイトルだけで本を選んだりした。気づくと、もうすでに一時間が過ぎてしまっていた。時間を守って自分は集合場所へ帰っていった。しかし、そういう時に限って自分が欲しい本を思い出した。これは心残りであった。終ってみると、物足りなさ、事前にはリサーチをしていなかった反省の念が沸き上がった。しかし、この企画は自分にとって良い経験と思い出になりました。ぜひとも、このような企画を今回だけで終らせず、続けてほしいと思いました。

## 図書を選書にあたって 経済学部 竹内 佳子

あんなに広い大阪の紀伊國屋書店で、自分の好きな本を好きなだけ何冊でも選書してもいいということは、はっきりいって難しいことでした。1時間という制限がある中で、真剣に選んでいると時間というもの、あっという間に過ぎ去りました。あれも欲しい、これも欲しい、1つの分野で立ち止まって選書していたので幅広い範囲における選書が出きなかったことが残念

です。自分では、特に、値段的な事で、例えば何巻かそろっている本などは、多量になかなか購入できないので、何冊でも選べるという今まで試みたことがないこと、また今後ともあるかどうかかわからないということで、大変貴重な経験が出来ました。今回この図書館モニターに役に立てたのかわかりませんが、自分自身のためにも勉強になったし、今までより本の魅力を知ることができたと思います。また、良い思い出になりました。ありがとうございました。

## 図書選書会について 経済学部 山本 智佳子

とにかく楽しかったというのが全体的な感想です。

私は本(小説)が好きで、寝る前、電車、ヒマな時と毎日読んでいるのですが、お金がないので図書館をよく利用します。今は10日に1回くらいの割合で、大阪市立図書館に通っています。けれど、たくさんの方が利用するだけあって人気のある本はなかなか借りることができません。(サルでもわかる…とか)

だから、この日の選書会を利用させてもらって、めいっばい自分の読みたかった本を選びました。あまりにも私の好みにかたよってしまったので反省しています。後輩のためにも、私のまだ読んでいない本を選書するのではなく、私のおすすめの本にすべきでした。

私の選書した本は1日でも早く読みたいです。卒業するまでに図書館の書架に並ぶことを祈っています。

## 図書を選書について 経済学部 留学生 張 燕慧

9月26日、図書館モニターに参加しました。紀伊國屋書店で約1時間程度、校内で専門研究の図書から個人的な趣味・絵本まで、幅広く自由に本を選ばせていただき、とても幸せに思います。短い選書時間でしたが、楽しく過ごすことができ、ありがとうございました。

私が選んだ本を皆さんに少しでも役立てていただければ、と思います。

# 学生図書館モニターが選書した図書の一覧

書名	著者名
学校を救済せよ	宮台真司
失われた王国	ゼカリア・シッチン
98電験三種完全解答	河村博
理論	オーム社編
電力	オーム社編
法規 改訂新版	オーム社編
水俣病裁判 人間を尊厳をかけて	水俣病被害者・弁護団
環境ホルモン汚染	中原英御臣
土壇場の経済学	青木雄二
電気機器	海老原大樹
超伝導テクノロジーABC	武田幸男
インターネット再構築術	小山健治
鉄道用語事典	久保田博
世界の高速鉄道	佐藤芳彦
工具材種の選びかた使い方	ツールエンジニア編集
関西の優良機械メーカー100社	日刊工業産業研究所
超伝導はおもしろい!	渋谷寿
旅客機年鑑'98-99	
艦船メカニズム図鑑	森垣英
絵で見る航空用語集	航空用語研究会
ORIGINAL PORSCHE 911	ピーター・モーガン
交通事故の実証的再現手法	上山勝
小林彰太郎の世界十徳大寺有垣との対話	小林彰太郎
障害者のための快適カーライフガイド	山田昇
クルマの掟 僕の自動車文化論	徳大寺有垣
「仕事の基本」が身につく本	久坂圭
この一冊で「敬語」がわかる!	矢橋昇
発掘!あるある大事典	有野有三
発掘!あるある大事典 2	番組スタッフ
不夜城	馳星周
車輪の下	ヘッセ
98初級シヤスト標準教科書	早川芳彦
はじめるウィンドウズ98	SE編集部
2000年版資格全ガイド取り方選び方	池田書店編集部編
ロミオ&ジュリエット	グレイグ・ピアーズ
プライベート・ライアン	M.A.コリンズ
ひとりで学べる乙種第4類危険物取扱者試験	防災企画グループ
この一冊で合格乙種第4種危険物取扱者試験	防災企画グループ
90分でわかる日本経済の読み方	角川総一
年をとるように国際情勢がわかる本	石川謙次郎
紳助のサルでもわかるニュース 1~8	よみうりテレビ
紳助のサルでもわかるニュース 特番 時事	よみうりテレビ
90分でわかる「世界経済」の読み方	田中文憲
手にとるように経済のことがわかる本	牧野昇
手にとるように経済用語がわかる本	牧野昇
ももの世界あっちこっちめぐり	さくらももこ
まる子だった	さくらももこ
あのころ	さくらももこ
もものかんづめ	さくらももこ
夜明けまで1マイル	村上由佳
翼 cry for the moon	村上由佳

書名	著者名
100問100答 世界の歴史 1~6	歴史教育者協議会
ソロモンの指輪	コンラート・ローレンツ
絵とき 応用力学	粟津清蔵
土質力学入門	岩佐義朗・赤井浩
解析学 1	宮岡悦良
解析学 2	宮岡悦良
神との対話	N.D.ウォルシュ
神との対話 2	N.D.ウォルシュ
信地球の歴史	足立郁朗
あるがままに生きる	足立幸子
難問題の系統とその解き方 物理I・II	服部嗣雄
環境倫理学のすすめ	加藤尚武
裸のサル	D.モリス
生命観を問いなおす	森岡雅博
構造力学演習	平野喜三郎
土木用語事典	土木用語事典編集委員会
知っておきたいインテリア材料の話	小西敏正
老人性痴呆症のための環境デザイン	ユリエル・コーヘン
ライトの生涯	オルギヴァンナ・ロイド
建築家がつくる家 ①	日本建築家協会
木の100不思議	日本林業技術協会
緑のデザイン図鑑	
美術館には脳がある	布施英利
NEWインテリアコーディネーション	
OMソーラーの住まい手たち	風上社編集部
21世紀の「学校」	
ニューショップデザイン	ヴィルマ・バー
建築ことば漫歩	矢田洋
航海日誌	
ライト建築のタイポロジー	ポール・レイジュー
雨の日には...	相田みつを
日本のNPOの経済規模	
台湾人の本心	早田健文
いちずに一本道 いちずに一仕事	相田みつを
おかげさん	相田みつを
おかあさん	サトウハチロー・詩
あかちゃん	サトウハチロー・詩
ふたりのゆきだるま	立原えりか
はじめてのなつやすみ	立原えりか
他人をほめる人、けなす人	F.アルペローニ
改正外為法が面白いほどわかる本	片山立志
憂鬱な希望としてのインターネット	村上龍
japanese road	小林紀晴
トイレスポッティング	アーヴィン・ウェルシュ
モリー先生との火曜日	ミッチ・アルボム
全国公営の宿3000	
クラシックの聴き方が変わる本	
ビッグバン時代のネット活用術	伊藤洋一
以上 他 641冊	

◎1月頃には、みなさんに見ていただけます。



## 2.座談会：「大学図書館に望むもの」

今年10月3日(土)総合図書館3階AVルームにて「大学図書館に望むもの」をテーマに学生図書館モニターに本音を語っていただきました。

館長 みなさん本日はどうもお忙しいところをお集まりいただきましてありがとうございます。

今回は図書館の利用者の代表でもある諸君の要望や意見を聞きたいと思います。

まず、先日図書館モニターの方に、紀伊國屋書店での図書を選書をしていただいた印象から聞かせていただけないでしょうか。

竹内 1時間の本の選書は、時間が足りず、配分よくできなかったですね。

寺内 本の選書で感じたのですが、本学の図書館に専門書はたくさんあるけれども、専門以外は少ないです。

谷口 私は自動車関係の専門書が少ないと感じます。

館長 大学の図書館は学術的な研究図書を中心としている為、どうしても専門分野が多くなるのですが、予算もあり、全てを揃えることは無理ですが、皆さんの希望にそえるように努力したいと思います。

釜谷 情報関係の本は回転が速い為、今回の選書で取り入れてもらいました。

図書館 情報の回転が早い資料は、雑誌などで補って欲しいのです。どうしても欲しい図書があれば希望図書制度を利用してください。

山下 今後選書する場合は1時間30分にして途中休憩も考えてほしいです。あとは、物理・化学の入門書、専門書が少なく感じます。

赤瀬川 入門書的な読みやすい本、設計思想が書かれた本を多く入れてほしいです。

張 私は本を選書できて幸せでした。アジア関係の統計資料が少ないのではないのでしょうか。



山本 私は小説が好きなのでもっと文学関係を入れて欲しいです。

館長 皆さんからとてもいい意見をいただきました。特に入門書関係が少ないのは今後選書する上で検討していきます。

### ◆施設について

寺内 落ち着いて勉強するために、一人用のキャレル(机)を増やしてほしい。

山下 4階書庫は学生の出入りが激しい為、やかましくて落ち着いて勉強できないですね。

図書館 3階にはグループで勉強できる部屋もあるのでこちらを利用してもらうように検討します。

山下 図書館の机は平面ですが、そこに仕切りをして他の人を気にせずに勉強できるようにしてほしいです。



館長 ゆっくり勉強できるようにしたいが、現状では図書館の建物自体にスペースの余裕がなく、図書館が飽和状態ではありますが、現在図書館の書庫棟増築に伴うリニューアル計画を検討しているところです。有効スペースが確保できれば一人用キャレル等を増やしていきたいと考えています。

図書館 中には鞆で座席を確保している学生がいるようですが、カウンターに連絡していただければ注意するようにします。

寺内 図書館のスペース不足は大学全体の問題であり、急激に学生が増えたためキャンパス内、特に昼間は学生が満ち溢れています。レポートを書こうと思っても図書館しかなくて大抵満員です。各学部学科にもそれぞれレポートを作成するための場所を確保してほしいですね。

館長 今、70周年記念会館の建設計画中ですので、その建物が完成すれば図書館が本来の姿である個人の勉強の場となることができ、学生の溜まり場となっている状況は解消されると思います。

張 私は図書館で勉強していても、隣にいる学生が騒々しいので集中して勉強できないんです。

図書館 図書館は年間延べ40万人、1日当たり約2000人程度の入館者がいます。規則を守って、本当に勉



強だけを目的として利用している学生とそうでない学生もいます。長時間ゆったりと閲覧出来る案として3階の第3閲覧室を開放すれば、24席あるので検討していきます。

山本 2階に3台のコピー機がありますが、4階にもコピー機を設置していただくと便利がいいのですが。

図書館 4階のコピー機の設置は紙詰まりなどの故障、お金の取り扱いに対する管理面・予算面の問題があり、不便をかけますがこのままの状態ですりあって効率よく利用していただきたいと思えます。

山本 他には2階の閲覧室よりも4階の書庫の方が図書が多い為不便ですね。

図書館 所蔵の古い図書は4階書庫に、新刊図書は2階閲覧室に排架しています。これは図書を整理するのにNDC(日本十進分類法)により分類記号を付けていて、現在は最新学問大系に沿ってNDCの9版を使用して2階閲覧室に置いています。ただし4階の書庫の図書は旧分類NDC7版を使用しているため、7版と9版を混同して排架することができないのが理由です。

張 留学生用の図書館ガイダンスを特に新入生に対して実施してほしいのですが。

図書館 入学時にガイダンスをしたいのですが時間的に問題があるのです。例えば国際交流担当部署が受け入れた学生に対して学内広報のサービスの一環として図書館ガイダンスをするのであれば対応できます。図書館としてもある程度まとまった人数がある方が説明しやすく、質疑応答を通じて学生の理解が深まると考えます。

竹内 台風時の貸出・返却取扱いについて、返却日が台風のため休講で図書館も閉館していたんです。次の日返却したら延長の手続きができなかったのですが。

図書館 現行のシステムでは、その場合返却はできるが同一図書を同日貸出はコンピュータシステム上、停止となり、その日は延長できないけれど、そういう場合には不利にならないように人的作業で責任を持って対応しています。またそのような機械のプログラムの変更は多額の費用がいるのです。

#### ◆ 図書について

山本 文庫本コーナーの本を著者別にまとめて欲しい。  
図書館 今のシステムは文庫本は受け入れた順番に請求記号を付けており、OPAC(コンピュータ検索)で読みたい著者名で検索すれば、所蔵一覧がわかり排架場所も表示しているのでその方法で利用できます。書物を一冊ずつ手にとって触れてみたりすることも必要ではないでしょうか。

寺内 学会誌等を置いて欲しい。また先生方からも希望を聞いて図書を入れて欲しいのですが。

図書館 学会誌等は継続性があるため予算的にも厳しい面があるのです。レファレンスコーナーで相談があれば相互利用等で必要な文献を取り寄せることはできます。また図書館では図書館委員を通して各学部に図書予算を配分して先生方に選書を依頼しています。

寺内 ILL(図書館間相互貸借)を前回利用したら1回3,000円かかった。金額設定はどうなっているのでしょうか。

図書館 大学間の相互利用では1枚当たり35円です。3,000円かかったのは特別な事情ではないでしょうか。今後は他のデータベースの利用もできるように検討しています。

## 2.座談会：「大学図書館に望むもの」

張 留学生用に各国の新聞はあるが、ベトナム語、台湾語等、現在置いていない新聞も置いて欲しい。  
 図書館 世界の主な新聞は置いていますが、外国の新聞の場合、内容が偏ったり、その国の事情により不明確な面もあり、複雑な要素が多いが、予算もあり、今後は検討していきます。

台湾新聞「中央日報」については国際交流課で購入予定になりましたので利用して下さい。

### ◆ 検索について

山下 図書館 OPACは使ったことがないし、使わなくとも図書館を利用できていると思います。  
 図書館 確かに、OPACを使わなくても図書館の利用度の高い方は、各フロア毎にどのような分野の本があるのかわかりますが、求める本を速く、正確に探す場合は、OPACを利用すると便利です。  
 本学蔵書の約80%はコンピュータで検索できます。もし、操作方法がわからない場合は気軽にカウンターで聞いて下さい。



寺内 工学部は東部キャンパスにあり、図書館まで来るのに時間がかかるのでOPAC機械を東部キャンパスにも置いて欲しい。また検索も著者名、書名以外の単語からもできるようにして欲しい。

図書館 より充実した情報検索環境を目指し、将来、学内LAN(インターネット)を介してパソコンを使ってどこからでもアクセス(利用)が出来るようにWEB OPAC(館外検索)を検討しています。検索に関しては現在、OPACの内ワード(単語)からでも検索できる機能があり、取扱い説明で確認してください。





### ◆職員の対応

山下 本年3月までは4階書庫に図書館の人がいなかった  
ので、安全面で問題がありましたが、今は解消さ  
れてよかったです。図書館は学生の私語  
が多くてやかましいですね。

図書館 やかましくてマナーの悪い学生がいる場合、遠慮  
なくカウンターに申し出て下さい。図書館員が注意  
をします。

### ◆その他

釜谷 ライブラリーコンサートはクラシックばかりで参加しに  
くい。学生にアンケートを取って1曲程度は学生が  
聴きたい曲を入れて欲しい。

図書館 図書館で所蔵しているクラシック音楽を中心に選  
んでいます。クラシック音楽は難しいというイメージ  
がありますが、気怪な曲が多くあり実際に聴いてい  
るとなごんできたりしますので、一度聴いていただき  
たいと思います。コンサートの4回に1度は、希望曲  
を取り入れたいと思います。

また今後は多くの方の利用しやすいように時間帯  
を考えます。

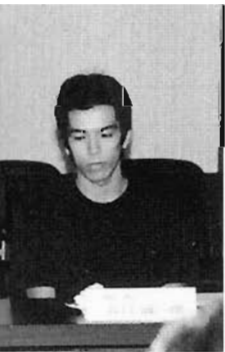
山下 各学部学科に空いている部屋があれば図書館の  
図書を別置してはどうでしょうか。

図書館 図書館所蔵図書は財産であるため、管理する上  
で難しいのです。

赤瀬川 環境デザイン学科の図書は4階書庫に多いので2  
階に置いて欲しい。4階の図書を利用したい場合  
いちいち2階まで運ばなければならないので大変です。

図書館 図書館の収容能力の問題であり、図書保管を将  
来的に考えると4階書庫に置かざるをえないのです。  
また図書分類記号をNDC7版、9版を使用している  
ため、7版は4階書庫に、一方の2階閲覧室には9版  
図書を排架しています。いずれは2階閲覧室に新  
刊図書が充実していくことになります。

館長 今回皆さんからの意見を拝聴でき、出来るだけ期  
待にそえるように努力したいと思います。予定の時  
間を超えたので一応今日はこれで終わります。  
どうもありがとうございました。



### モニターの要望により改善しました。

1. 静かに落ち着いて利用(勉強)できるよ  
う3階第3閲覧室を予約制にしました。  
(現在手続きは準備中、実施は追って  
通知します)
2. 小グループでの図書館利用ガイダ  
ンス(説明会)の実施。  
受付は2階カウンターで予約をして  
ください。  
なお、先日短期留学生に対しての図  
書館利用についてのオリエンテーショ  
ンを行いました。

毎年、図書館では図書館サービス充実の参考資料とするために、各種利用統計を作成しています。今回、一部を紹介します。

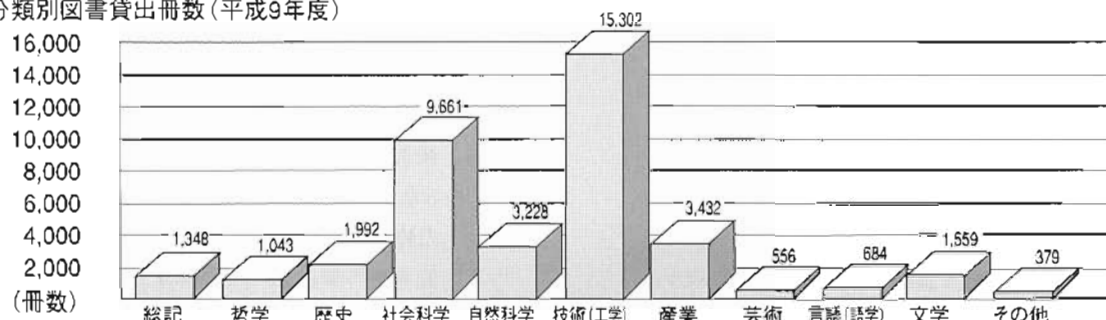
## (1) 過去5年間の入館者数

年度別	平成5年度	平成6年度	平成7年度	平成8年度	平成9年度
入館者数	420,009	452,512	441,285	424,575	435,894
1日平均入館者数	2,000	2,094	2,015	1,895	1,903

## (2) 過去5年間の貸出者数および冊数

年度別	平成5年度	平成6年度	平成7年度	平成8年度	平成9年度
貸出者数	11,099	11,415	11,194	19,969	21,101
うち学生	10,316	10,664	10,443	19,440	20,226
貸出冊数	38,604	41,163	40,155	37,519	39,184
うち学生	35,646	39,388	38,465	35,546	36,771

## (3) 分類別図書貸出冊数(平成9年度)



## 最近入った図書の一部紹介 (下記の図書がすでに貸出されている場合、予約ができます。カウンターで手続きをすればその図書が返却されたとき、優先して借りられます。)

書名	著者名	請求記号
情報処理ハンドブック	情報処理学会編	007.6/268
コンピューターとインターネット英語の用語と文例	篠田義明著	007.6/286
学生のためのWord & Excel	若山芳三郎著	007.63/104
人間機械論：発情するホモ・サピエンス	堀川哲著	114/3
日本人物話題事典	渡辺富美雄[ほか]編	281.04/5
ふるさとホームページ図鑑	言葉工房編	291.09/13
はじめての海外旅行	菊池由紀著	290.93/4
アマゾンの畑で採れるメルセデス・ベンツ	泊みゆぎ、原後雄太著	333.86/1
究極のビジネス書50選：マネジメントの原点	スチュアート・クレイナー著	333.04/30
職業ハンドブック	日本労働研究機構編	366.29/16
アダルト・チルドレン：アルコール問題家庭で育った子供たち	J.G.ウオイティツ著	367.3/15
死ぬ権利と生かす義務：安楽死をめぐる19の見解	J.D.モレノ編	490.15/14
地球環境キーワード事典	環境庁地球環境部編	519/122
自動車開発のシミュレーション技術	自動車技術会編	537.1/6
神話のマネジメント：コカ・コーラの経営史	河野昭三、村山貴俊著	588.4/1
パブの看板：イン・サインに英国史を読む	森護著	674.8/1
鉄道とコンピュータ	富井則雄[ほか]著	686/4
色彩：カラーコーディネーター入門	大井義雄、川崎秀昭著	757.3/9
独りだけのウィルダネス：アラスカ・森の生活	リチャード・ブローンネク著	786.04/1
笑う敬語術：オトナ社会のことばのしくみ	関根健一著	815.8/3
源氏物語	瀬戸内寂聴訳	913.36/5/1-10
少年H	妹尾河童著	913.6/127/1-2
レディ・ジョーカー	高村薫著	913.6/132/1-2
ループ	鈴木光司著	913.6/140
氷の淑女	シドニィ・シェルダン著	933.7/4/1-2

図書館の資料を上手に使い、効率の良い勉強を行いたい。

内容の充実したレポートをできるだけ早く仕上げたいと学生全員が考えていると思います。

現在、本学総合図書館に貯蔵している図書は、和洋合せて約31万冊、受入れしている雑誌類は2400タイトルであります。これらの資料を使いこなすことは、大変むづかしいことですが、これができないと目的を達することができません。

そこで登場するのが、レファレンサーすなわち図書館内で図書・情報の探し方、情報収集の方法などの指導を行っている図書館員です。

## 1. レファレンサーの仕事

レファレンサーは常に図書館の中にあつて学生を主体とし、職員からも質問に合わせた相談に乗っております。

学生のレポートのための情報の探し方から教員の研究に必要な論文の収集についてまで一切の質問に対応するもので、学生に対しては主として必要情報をどのようにして探し出すかをその手順、検索ツールの紹介、その使い方までを指導しています。

学生諸君は、探す手順などどうでも良く、すぐに回答を教えてくださいようですが、必要情報をどのようにして入手するか、入手した情報を使ってレポート作成するだけでなく、今後の活動にいかに関活用していくか、これらの力を学生生活を送っているうちに身に付け、卒業後実業界で活動する際に役立つように調査の基本から実用までを学んでください。

## 2. レファレンスを受ける際に気をつけること

レファレンスを受けようとする場合次のことを十分気をつけてください。

- (1) 自分が何を知りたいかを明確にしてください。
- (2) 目的とする資料それ自体が無い場合でも、代わりの資料で目的が達せられることもあるので、さらに調査内容で質問してみてください。
- (3) 気軽に図書館員に相談してください。(同一質問について答が出るまで何度でも利用してください。角度を変えて質問するとよいです。)
- (4) 期限間際になって、至急の要求をしないでください。(問題発生後できるだけ早く、図書館に相談してください。物理的に目的とする資料を入手し得るものでも、時間的制約には勝てないのです。)
- (5) 質問事項が複数にわたる場合には、最初にまとめて言ってください。関連して調べられることが多く、短時間で目的が達せられます。
- (6) 調査の範囲と深さの程度を明らかにしてください。たとえば、図書館で貯蔵しているものだけでよいとか、日本語や英語で書かれたものに限定し、ドイツ語やロシア語は不用とか、時間的限界などが考えられます。

## 3. レファレンスで回答しない事項

図書館学の勉強に行った際に、レファレンスで回答してはいけない事項として教えられるのは、

- (1) クイズの回答に関する事項
- (2) 身上相談
- (3) 学習の宿題に関する事項

の3点であり、(3)の学習の宿題に関する事項については学生諸君がレポートを作成するための(情報については)回答そのものは行わないが、情報の探し方、調達方法については指導しております。

## 4. 相互協力

レファレンスの重要な仕事として相互協力があります。多数の学生、教員の方々から要求される情報は種々雑多なものであり、限られた予算、人員、スペースで収集できる情報の量は、わずかなもので、利用者の要求に即対応できるものではありません。そこで、専門の機関を紹介したり、図書を他館から借用したり、必要論文をコピーで調達します。また必要に応じて、他館の閲覧をお願いするなど、自館では調達し得ない情報をお互いに協力し合つて利用者サービスをしています。

情報伝達の方法は、音声、文字、映像、と多様化して来ており、記録方法も最近特に進歩して来ています。これら各記録媒体を十分に使いこなし、情報伝達の助け舟を出しているのがレファレンサーです。いつでも、どこでも質問に応じる考えのもとに利用者の皆さんの呼びかけを待っております。

### 「図書館だより」原稿募集

「最近出合った本、面白い本」等図書に関する事・読書の感想・AV視聴の感想・エッセー・小論文「図書館だより」の企画・図書館に対するメッセージ等を募集します。

- 400字詰原稿用紙で2枚以内、又はワープロの原稿(20字×40字)
- 提出は3階事務室です。
- 資格は、図書館を利用する人であれば、だれでも結構です。
- 締切りは、平成11年2月末日とします。
- 採用した分については、図書券を進呈します。

どしどしお寄せください。……………

次回「館報」は、平成11年5月中旬を予定しています。



# 総合図書館インフォメーション

- 1.開館時間 ●図書館は通常9時～20時30分、土曜日は9時～19時20分の間開館しています。(但し、貸出、返却、レファレンスは通常9時30分～20時、土曜日は9時30分～19時)  
●都合により変更することがあります。
- 2.休館日 ●日曜日・国民の休日、本学創立記念日(11月1日)  
●館内整理日(毎月の25日、当日が休日の場合は翌日)  
●臨時の休館日は、その都度掲示します。

## 3.貸出冊数と期間

種別	冊数	期間
学生	5	2週間
大学院学生 非常勤講師	30	5カ月
本学職員	90	1カ年

〈注意〉借りた本は、期日までに返却してください。  
次に借りたい人のためにも迷惑がかかりますので注意してください。返却期間を過ぎた場合、延滞日数の倍日数だけ貸出を停止します。

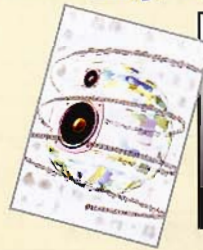
## 図書館からのお願い

図書館では、入館者がお互いに気持ちよく利用できる様いくつかのお願いをしていますが最近違反者が多くなっているのが次の3点です。  
☆携帯電話の使用 呼出音がまわりの人の迷惑になります。入館時には電源を切っておいてください。また発信は館外でお願いします。

☆館内での飲食 館内は飲食禁止です。ペットボトル等は必ずカバン等に収納した上で入館してください。  
☆ラウンジの使用 各フロアのラウンジにあるスツールやベンチは座席としてのみ使用すること。一人でも多く座れる様配慮してください。館内が勉学にふさわしい場所になる様あらためて協力をお願いします。

## ライブラリー・コンサート

図書館では、蓄積されたCD・LD・レコードをイギリスのタンノイ・スピーカー等世界一級オーディオシステムを駆使し、なじみのあるクラシック音楽を紹介しています。  
今感性の時代と言われています。感性を磨くためにもクラシック音楽を聴いて、ハートを刺激してください。  
室はオープンです。時間内であれば自由に聴いてください。



- 場所:総合図書館3階AVルーム
- 日時:第1,第3木曜日12:30～14:00
- 曲目・日程は、総合図書館玄関に置いてあります。

## 一般雑誌コーナー利用のすすめ

図書館1階には、新鮮な情報・趣味・娯楽等気軽に読める週刊誌・月刊誌を購入しています。  
ヘッドライン・ニュース、話題のネタ、雑学として違った視点で本を読むのも楽しいと思います。  
勉強疲れのリフレッシュに大いに利用してください。

エアラ・Lマガジン・CDでーた・FMファン・ターザン・シュシュ・モア・アサヒパソコン・アサヒグラフ・アミューズ・スパ・キネマ旬報・サンデー毎日・週刊新潮・週刊朝日・鉄道ジャーナル・レコード芸術・タイム・ニュースウィーク・ライブ・プレジデント・光華・神州学人等

## 編集後記

教育テレビにおいて、平成10年9月21日は日本語で、10月3日は英語で「子供の本を通しての平和」をテーマとして皇后美智子様によるスピーチをごらんになった方も少なくないと思う。皇后様の幼少期に影響を与えた本の数々にも興味がありましたが、聞き終えた後感じたのは「愛と犠牲の不可分性への恐れであり畏怖であった」という感性に心を新たにされた想いでした。本とりわけ児童文学程、幼少期における私達の心を育て、その後の人格形成を発達させるものは

ないのではないかと日常、大学の所謂「蔵書」に囲まれている身にとってそう思わざるを得ません。皇后様のもう一つの言葉はさらに私の心に残りました。「子供は不思議なバランスのとおり方をするもので、少しずつ、本の中で世の中の悲しみにふれていったと同じ頃、私は同じく本の中に、大きな喜びも見出していたのです。」(H.S)  
ご多忙の中、今号の編集にご協力くださいました皆様方に厚くお礼申し上げます。

図書館だより No.3(学園創立70周年記念号)  
発行日 平成10年11月16日  
編集・発行 大阪産業大学総合図書館

大阪府大東市中垣内3丁目1-1  
Tel. 0720(75)3001(代)  
Fax. 0720(73)1664



再生紙を使用しています。